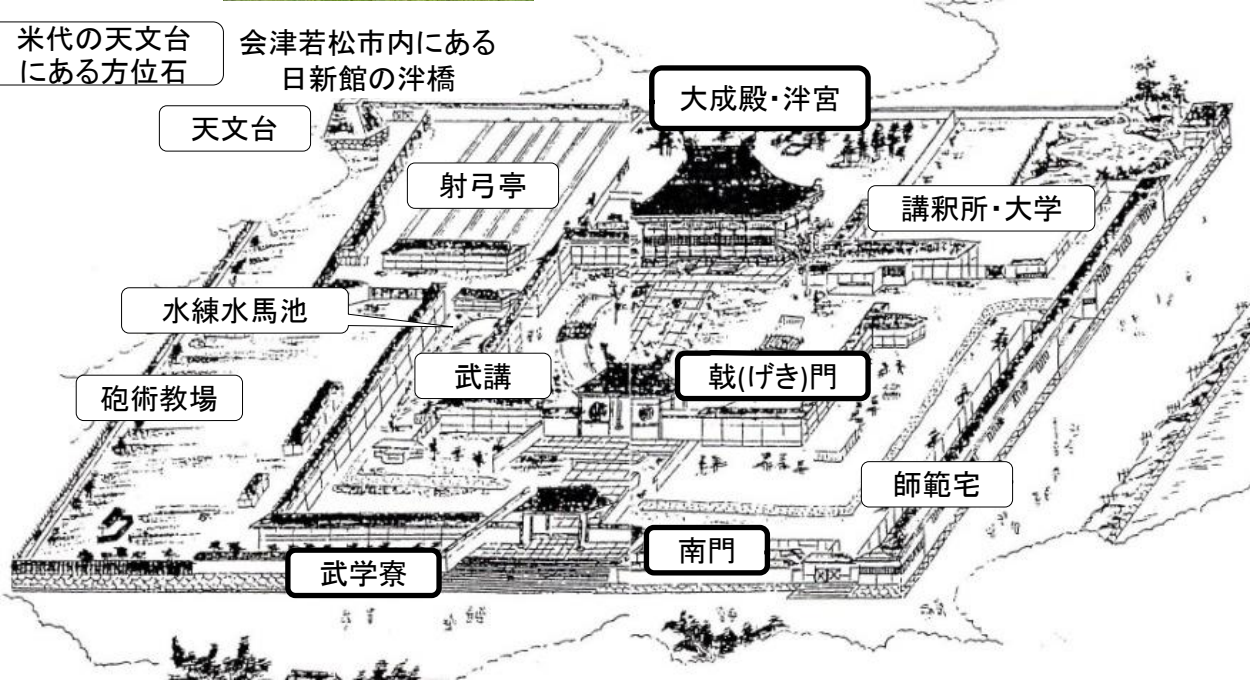




「泮」(はん)とは学校を表します。
武学寮に剣術の道場がありました。
戟(げき)とは中国の武器で「ほこ」

米代の天文台
にある方位石

会津若松市内にある
日新館の泮橋



馬刺しと日新館

○平石弁蔵『会津戊辰戦争』
慶応四年(一八六八)八月「各方面から傷病者が運ばれてくるので、日新館を臨時病院に宛て収容し、幕府の医者松本良順が院長として、治療をしました。この時、牛馬を屠殺(とさつ)して、患(とさつ)する能(あた)はぎ
○山川健次郎『会津戦争』
八月二十三日「西出丸より火箭(ひや)を射て之を焼く、傷兵歩することを得た者は城に入り、歩
○籠城戦中、傷病者に給する食物は、照姫様が監督し、本丸西隅に炊事場を設けた。羹蔬(こうそ)野菜を煮た汁(じゆ)鶏肉牛肉等を添え病

寛政十年(一七九八)、会津藩家老田中玄幸により計画。会津藩御用商人須田新九郎が資金を寄付し、享和三年(一八〇三)完成。東西約一二〇間、南北約六十間あった全国屈指の藩校です。十歳になると日新館に入学します。十五歳までは素読所(小学)に属しました。素読所を修了した者で成績優秀者は講釈所(大学)への入学が認められます。さらに優秀な者には、江戸や長崎へ遊学しました。嘉永五年(一八五二)二月六日には、長州藩の吉田松陰が訪れています。
講釈所(大学)では、日本最初の給食、メニューは、お握り、汁、漬物、たまに秋鮭を出しています。日本最古のプールもあり。
戊辰戦争で焼失、天文台跡が残っています。
仲の掟(しゅうのおきて)
六歳から九歳まで「仲」という藩士の子弟集団がありました。座長の「仲長」が心得の「仲の掟」を話しました。
一、年長者の言うことに背いてはなりません
二、年長者には御辞儀をしなければなりません
三、虚言をいふ事はなりません
四、卑怯な振舞をしてはなりません
五、弱い者をいぢめてはなりません
六、戸外で物を食べてはなりません
七、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません